

2024 年 9 月 25 日

国立民族学博物館

WHILL 株式会社

文化施設で世界初！国立民族学博物館で WHILL 自動運転サービスが正式導入 ～DX 活用でまったく新しい鑑賞体験！体力や疲れを気にせず老若男女誰もが広い館内の 展示品を悠々と楽しめるひとときを提案～

国立民族学博物館（所在：大阪府吹田市、館長：吉田憲司）と WHILL 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長 CEO：杉江理、以下「WHILL 社」）は 2024 年 10 月 3 日より、同博物館内において WHILL 社が提供する WHILL 自動運転モビリティを一般公開することを発表いたします。一人用の自動運転モビリティの文化施設における導入は世界初となり、DX を活用した新しい鑑賞体験の提案を通じ、年齢や



障害の有無に関わらず誰もが悠々と、数々の展示品観覧を楽しめるひとときを演出します。

国立民族学博物館は約 1 万 2,000 点の展示資料や約 850 本の映像番組などを通して、世界のさまざまな文化にふれることができるなど、館内の隅々まで見どころが満載です。一方、高齢化や多様化の加速、法改正による合理的配慮の義務化などに伴うアクセシビリティ機運が高まっているとともに、実際、特にご高齢世代や長距離歩行が不安な方にとってすべてを徒歩で鑑賞するには難しいとの課題感もありました。

〈本件に関する報道関係者のお問合せ先〉

国立民族学博物館 総務課 広報係

TEL：06-6878-8560 / Fax：06-6875-0401 / E-mail：koho@minpaku.ac.jp

WHILL 株式会社 広報担当：新免

TEL：070-4456-9991 / E-mail：jp.pr@whill.inc

こうした中、国立民族学博物館ではかねてより、どなたでも快適に展示を観覧できるシステムの実用化を見据えて WHILL 自動運転サービスの検討と実証を重ねてまいりました。2023 年秋からは一般の方を対象に、展示場での自動運転モビリティによる試験走行を開始し、のべ 30 名ほどが体験しています。参加者からは「快適に展示場をまわることができて、操作も簡単でした」「視点が変わり、これまで見ていなかった展示に気づきました」「安全装置が動いていることを感じて安心して乗れました」といった好評の声が多く寄せられ、高いニーズが明らかになったことと安定運用が立証されたことから、10 月 3 日より一般公開するに至りました。

国立民族学博物館における WHILL 自動運転モビリティは、あらかじめ定められた鑑賞コースを時速 0.8km 程度（人がゆっくり歩く速さ）で進みます。乗車中は足腰のつらさや体力、疲れなどを気にせず、じっくりと展示品 1 つ 1 つに集中してご覧いただくことが可能なほか、同行者ともほぼ同じペースで巡れるので双方に気兼ねなく鑑賞いただきやすいのも特徴です。

国立民族学博物館と WHILL 社は今後も密に連携し、安定運用を維持しながら同サービスで巡る鑑賞コースの拡張や台数の増加など幅広い選択肢を検討してまいります。また、音声ガイドによる展示解説など、さらなるサービス向上に努めるとともに、あらゆる人が当たり前かつ快適にその場を存分に満喫できる社会づくりを目指してまいります。

■WHILL 自動運転サービスによる鑑賞 概要

一般公開日	2024 年 10 月 3 日（木）～
走行場所	本館展示場 C ブロック （朝鮮半島の文化、中国地域の文化、中央・北アジア、アイヌの文化、日本の文化）
走行時間	約 50 分
運用時間	10：00～17：00
利用料金	要展示観覧券（ご乗車のための利用料は不要です）
利用条件	身長 140 cm 以上、体重 136 kg 以下 ※ペースメーカーをお使いの方はご乗車いただけません。

■WHILL 自動運転サービスについて

自動運転・自動停止機能などを搭載したモデルで、広い施設内の特定の目的地まで自動走行で移動できます。あらかじめ収集した地図情報と、センサー群で検知した周囲の状況を照らし合わせながら自動走行し、降車後は無人走行で元の場所に返却されます。WHILL 自動運転サービスは現在、羽田空港や関西国際空港など国内外の空港で日々安定運用されているほか、国内の病院でも採用が広がっています。

詳細：<https://whill.inc/jp/mobility-service>



〈本件に関する報道関係者のお問合せ先〉

国立民族学博物館 総務課 広報係

TEL：06-6878-8560 / Fax：06-6875-0401 / E-mail：koho@minpaku.ac.jp

WHILL 株式会社 広報担当：新免

TEL：070-4456-9991 / E-mail：jp.pr@whill.inc

<国立民族学博物館について>

国立民族学博物館（みんぱく）は、博物館をもった研究所です。本館の展示は、世界を9つの地域に分けた地域展示と、音楽や言語の通文化展示からなり、オセアニアを出発して東回りに世界を一周する構成となっています。衣食住などの生活用具を中心とした約1万2,000点の展示資料と、世界の儀礼や芸能・生活の様子を紹介する約850本の映像番組などをおとして、世界のさまざまな文化にふれることができます。

また、特定のテーマを深く掘り下げた特別展や企画展を年に数回開催しています。

公式サイト：<https://www.minpaku.ac.jp/>

<WHILL 社について>

WHILL 社は、2012年5月に日本で創業し、「すべての人の移動を楽しくスマートにする」をミッションとして、約30の国と地域で近距離移動のプロダクトとサービスを展開しています。主な事業は、高いデザイン性や操作性などが特徴の近距離モビリティ ウィルの開発・販売、およびウィルを活用して気軽な移動体験を提供するモビリティサービス（法人レンタル／自動運転）です。WHILL 社は2事業を柱に、近距離の中でも、他の移動手段では行けなかった、歩行領域（歩道・屋内外）の移動をカバーすることで、誰もがどんな場所にもつながる世界を構築します。

■メディアの方へ ご取材希望の場合

実際の試乗や走行の様子撮影、国立民族学博物館 担当教員や WHILL 社側への取材をご希望の場合は以下の通りご案内申し上げます。

○報道関係者と民博との懇談会での取材を希望される場合

10月17日（木）15：30より開催します、報道関係者と民博との懇談会（以下、「懇談会」）にて、本取組みについて、担当教員による説明と質疑応答を予定しております。懇談会中は WHILL 自動運転サービスの撮影や試乗をしていただくことは出来ませんが、懇談会前の時間帯で撮影や試乗をしていただくことが可能です。

なお、懇談会は事前申込制で国立民族学博物館の会議室で開催します。Zoom でのご参加も可能です。参加をご希望の方は、10月11日（金）までに国立民族学博物館総務課広報係までご連絡ください。

○上記の懇談会とは別の日程で撮影・取材をご希望の場合

10月3日（木）の一般公開開始後、上記の懇談会とは別の日程で撮影・取材をご希望の方は、国立民族学博物館総務課広報係までご相談ください。

ご不明点等ございましたら末尾のお問い合わせ先にご連絡いただきますようお願いいたします。

〈本件に関する報道関係者のお問合せ先〉

国立民族学博物館 総務課 広報係

TEL：06-6878-8560 / Fax：06-6875-0401 / E-mail：koho@minpaku.ac.jp

WHILL 株式会社 広報担当：新免

TEL：070-4456-9991 / E-mail：jp.pr@whill.inc